

2005年日本国際博覧会（愛知万博）関係資料

○事業資金等

【全体資金収支見込（H18.6末現在）】

（単位：億円）

収 入			支 出			収支残
項 目	計画	実績	項 目	計画	実績	
国庫補助金	450	449	会場建設費	1,350	1,453	
地方公共団体補助金	450	449	施設設備費	1,350	1,153	
民間等収入	450	585	撤去工事費		149	
指定寄附金		234	企業協賛(現物)		151	
公営競技等(注1)		199	運 営 費	550	632	
企業協賛(現物)		151	事業運営費	130	164	
博覧会事業収入	550	731	会場管理費	170	178	
入 場 料	390	619	広報宣伝・入場券関係費	70	124	
その他(注2)	160	112	一般管理費等	180	166	
計	1,900	2,214	計	1,900	2,085	129

出典「2005年日本国際博覧会 公式記録」より抜粋

- (注1) 公営競技等収入内訳：日本自転車振興会(114)、競輪「愛・地球博協賛競輪」(9)、国際花と緑の博覧会記念協会(7)、日本万国博覧会記念機構(1)、寄附金付郵便切手寄附金(1)等
- (注2) 博覧会事業収入のその他の内訳：営業施設使用料、出展料、駐車場、運賃、広告収入、貨物取扱料、宿舍等使用料、供給施設使用料、シンボルマーク使用料 等

《参考1》国の閣議了解(H7.12.19)での資金計画方針（抜粋）

- ・博覧会の規模は極力圧縮。国の負担は既定経費の合理化で賄い、特別の措置は一切講じない（建設費）
 - ・長期的地域整備で行われるべき土地造成、施設整備等は会場建設費から除外し圧縮すること
 - ・会場建設費は、補助対象を建設費総額の2/3程度(国・地方同率負担)とし、残余は民間対応
- （運営費）
 - ・適正な入場料の設定により賄うこととし、国庫によるいかなる負担も助成も行わない
- （関連公共事業）
 - ・通常の公共事業費の中での適切な配分によることとし、新たに国及び地方の特別な財政措置は講じないこと

【協会体制】

○協会職員：454名

※入場者数：計画 1500万人／実績 2156万人